

# 課題研究 ポスター発表の手引き



## 目次

- p.1 ~4 ポスターレイアウトの基本**
- p.5 ~6 文型&理型ポスター例**
- p.7 ~12 ポスター作成の手順(初心者から熟練者まで)**
- p.13 ポスター印刷&確認**
- p.14 提出前のチェックリスト**
- p.15~16 ポスター発表の仕方**

**L・S**      **班 班長**      **組**      **番 氏名**

---

# ポスターレイアウトの基本

★課題研究の発表ポスターは、PowerPoint を用いてA0サイズ（縦 84.1cm×横 118.9cm）で作成します。発表ポスターは次の①～⑥の項目を示して作成しましょう。

## ①タイトル，所属班，発表者名

タイトルは大きくわかりやすく文字で。発表者名は班員全員を載せましょう。

＜良いタイトルの付け方＞

- ・わかりやすく，何をやろうとしている研究なのかが想像がつく
- ・タイトルから「取り組む問題」「問題解決の着眼点」がわかる
- ・「取り組む問題を述べる主題」「問題解決の着眼点を述べる副題」という形である  
例) アントシアニン生成に影響を及ぼす要因～糖類がその引き金になるのか？～

## ②背景・目的

自分たちの研究に関連する先行研究・事例を紹介し，それをもとにどのようなリサーチクエスチョンを設定したのか（何を明らかにするのか），リサーチクエスチョンを解決する仮説（何が明らかになれば問題を解決できるか）を示す。

＜背景・目的で示すべき情報＞

- ・先行研究・事例として取り組まれている内容，未解決・未解明の現象や事物
- ・自分たちが取り組んだ研究の新規性・独自性
- ・リサーチクエスチョンと仮説の設定

## ③研究方法

どのような研究方法を用いて仮説を導くのかを具体的に示しましょう。

＜研究方法で示すべき情報＞

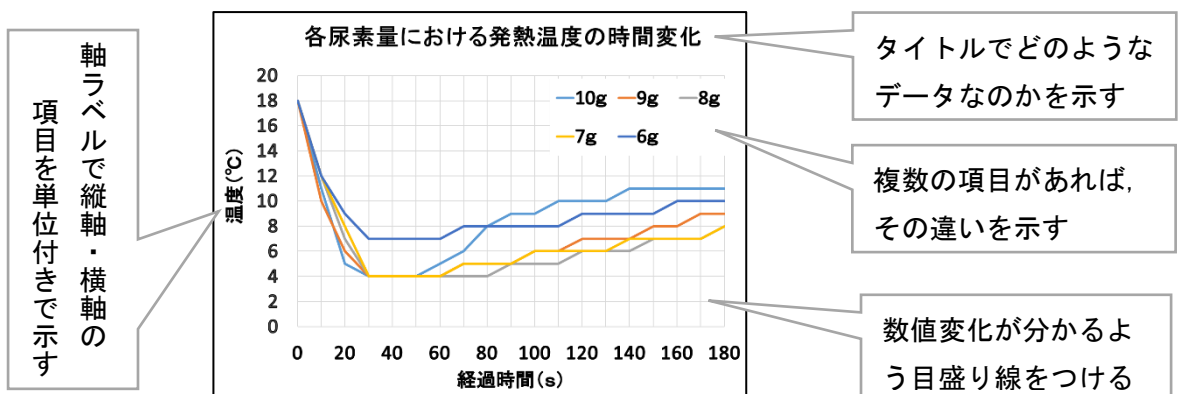
- ・研究対象：特徴や由来，物質名，種名など研究に用いた事物
- ・実験・観察・調査の狙い：各方法の狙いを小見出しとしてつける
- ・実験・観察・調査の方法：他者が方法を再現できるよう，5W1Hを意識して示す  
装置の写真や模式図など視覚的に分かりやすく示すとよい

## ④結果

研究方法から得られたデータを「～であった」「～となった」など過去形で述べましょう。図表を活用すると，説明文を省略して一見して内容が分かるようになります。

**注意** 結果は客観的な事実のみ，「～だろう」「～と考えられる」などの主観的な内容は×

＜図表で示す基本的な情報＞



## ⑤考察・まとめ

結果をもとに研究の考察や結論(背景・目的で述べたリサーチクエスチョン・仮説に対する答え)を述べましょう。また、この研究によって生じた問いや継続中の実験・調査に対して、今後どのように取り組んでいくかを述べましょう。

<考察・まとめで書くべきこと>

- ・個々の結果になった理由、その結果から想定されること
- ・一連の結果を統合して想定されること
- ・他者の研究と照らし合わせて結論を出すこと

## ⑥参考文献・引用文献

参考文献：研究背景や実験方法など研究を進めるうえで参考にした文献

引用文献：ポスター中でその記述について直接的・間接的に言及した文献

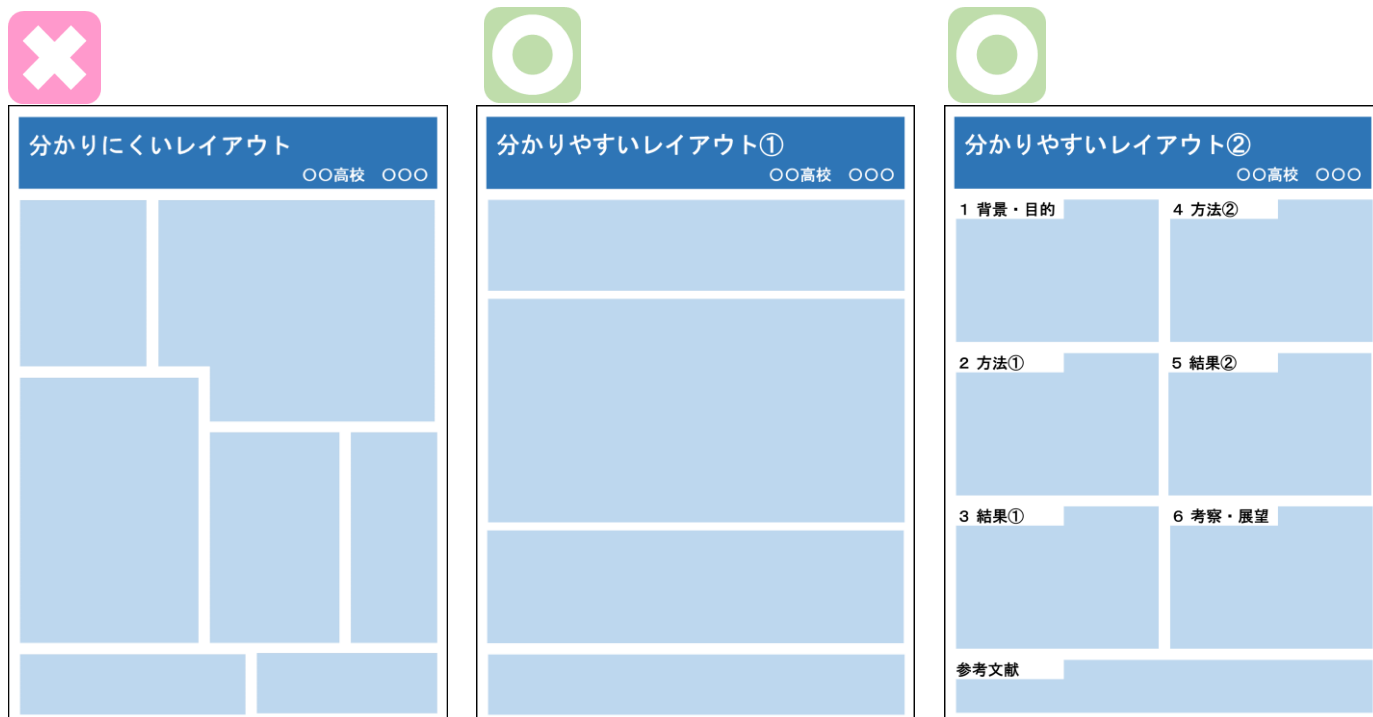
研究にて参考・引用した文献は必ず文献を特定するのに必要な情報を記載する

例) 難波大真 他(2014). 「手作り瞬間冷却材の制作」, 神戸高専研究紀要, 第 50 号(平成 24 年), 177-180

著者・組織名(発行年), 「文献タイトル」, 掲載されている雑誌名, 巻番号, 最初と最後のページ数

## ★流れのわかりやすいレイアウト

ポスターは1枚の中で、序論→本論→結論のようにストーリーが完結している必要があります。そのため、見学者にとって見やすく分かりやすいレイアウトであることが重要です。ポスターを見る際の視線の動きが「上から下」「左から右」になるよう各項目を配置しましょう。



左のポスターは、各項目の大きさや配置、順番がバラバラで見る順番が分かりません。

中央のポスターは、上から順に見ていくことが推測できます。

右のポスターは、ストーリーの順番を番号で示し、項目の見出しも付けているので、見学者が流れを一瞬で把握できます。

上記の例を参考に見学者の視線を意識したレイアウトを心がけましょう。

## ★読みやすいテキスト

### ①フォントは「ゴシック体」で

 MS 明朝体

 MS ゴシック体

ポスターはある程度離れた位置から見ることになるので、上記のように文字の太さが均一な「**ゴシック体**」を基本に使いましょう。

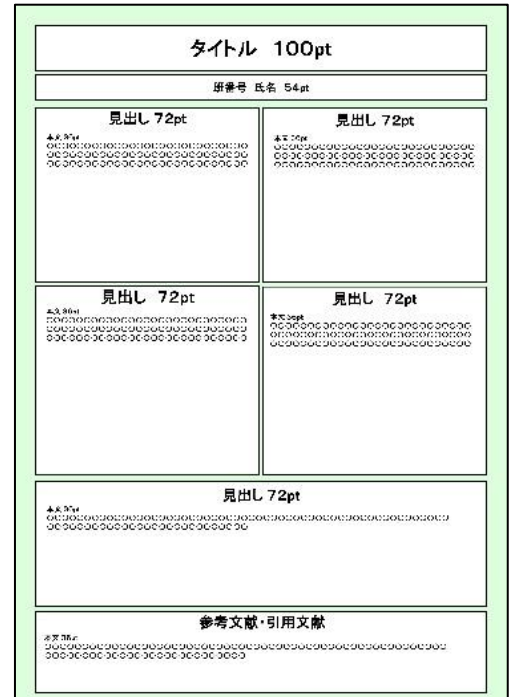
### ②フォントのサイズを分ける

項目ごとにフォントサイズを分けることも大切です。  
タイトル→見出し→本文の順にサイズを小さくすることで情報の序列が分かりやすくなります。

[A0サイズポスターでの文字ポイント数の目安]

- ・タイトル 100pt
- ・班番号・氏名 54pt
- ・見出し 72pt
- ・本文 36pt

上記の目安で作成したポスターの全体図⇒



### ③情報は短くグループ化する

ポスターは1m以上離れて見るものと考えてください。文量が多いと見学者もポスターを読み疲れてしまいます。大切なことは、ポスターは『**読ませるのではなく見せる**』という意識です。下記のように箇条書きや囲み線、小見出し等を活用することで、情報を整理し分かりやすいポスターになります。



#### 1 資料のデザイン

##### (1) 視力検査のようなポスターにしない

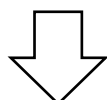
見学者とポスターの間に距離がある場合には、見学者が目をこらしてみなければならぬような小さなフォントや図表を使用しない。本文のフォントサイズは32pt以上を基本とする。図表を使用することで、情報の文章化を少なくすべきである。グラフ内の数値や文字のフォントサイズが小さいと重要なデータが伝わらないため、吹き出しやテキストボックスを加えるとよい。

##### (2) 余白は多すぎず、少なすぎず

余白が多いと内容が不足している印象を与え、逆に隙間なく書かれていると読みづらい。伝えたい情報を取捨選択し、見やすさを重視する。

一行の文字数が多いと、遠目から読みづらく、内容も分かりにくいです。

背景と文字の色調が近いと文字がつぶれて見にくくなります。





### とにかく揃える

- ・図、文章、画像、表などの配置が揃っていないと、不要な視線の動きが必要になる。
- ・伝えたい情報がシンプルに伝わるように、文章や図表は整列して配置する。

### 色は3色まで

- ・多くの色を使用すると、統一感のない印象になり、情報が伝わりにくくなる。
- ・使う色は、ベースカラー、メインカラー、アクセントカラーの3色程度にする。

一行の文字数を減らし、**段組みや箇条書き**にすることで見やすく、一度に読む分量も減ります。

**小見出しや囲み線、一行分の空きスペース**等をつけると見やすく、分かりやすい内容になります。

同じレベルの情報は、**同じ大きさで揃えて並べる**



### グループ化されていない



- ・柴犬(しばいぬ)  
日本犬唯一の小型犬  
短毛・巻尾などが特徴
- ・秋田犬(あきたいぬ)  
日本犬唯一の大型犬  
身体能力が高い



### グループ化されている



- ・柴犬(しばいぬ)  
日本犬唯一の小型犬  
短毛・巻尾などが特徴

余白



- ・秋田犬(あきたいぬ)  
日本犬唯一の大型犬  
身体能力が高い

**関連する情報を囲み線で近づけ**、**関連のない情報を余白で遠ざける**ことで情報をグループ化

## ポスターレイアウト 要点まとめ

### <離れた場所からでも関心をひく>

- ・タイトルや小見出しの文字が大きい
- ・全体の流れが一見して分かるレイアウト
- ・簡潔で、内容がわかるタイトル
- ・視覚的に訴える図表を取り入れる

### <内容が伝わる>

- ・必要な項目が揃っている(目的・方法・結果・考察・参考文献など)
- ・項目ごとに小見出しを付ける
- ・文章は最低限に、箇条書きなどでまとめる
- ・番号を付け、読む順番を示す
- ・図表には読み取るべき要点を付記

### <文字のフォントや色使いなどが見やすい>

- ・フォントは基本「ゴシック体」で
- ・行間を詰めず、適度に余白をつくる
- ・背景色に原色や濃い色は使わない(白色やパステルカラーがオススメ)
- ・囲み線で情報をグループ化
- ・色を使いすぎない(3色程度がよい)

# 文型 & 理型ポスター例

## 【文型ポスター】

### 天気予報における曇りの存在と心理的關係

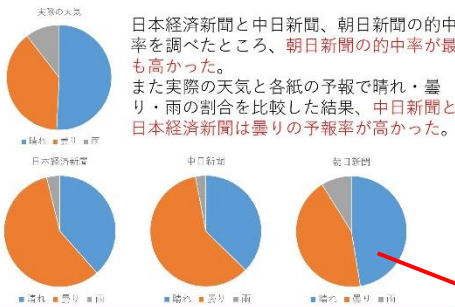
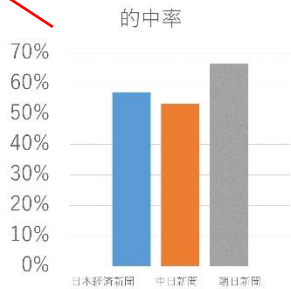
L28班 ○○○○ ○○○○ ○○○○ ○○○○

#### 【研究の目的】

昨年度天気予報が当たりやすいメディアに着目し、メディアごとの天気予報と、その的中率を調べたところ、以下に示すような結果になった。

棒グラフ…数値データを比較  
円グラフ…各項目の割合を表記

#### 昨年度の研究と結果



#### 考察

気象庁から出る同じ情報をもとに予報しているにも関わらず、予報的中率に差異が出るのは、異なる予報士ごとの曇りと予報する割合が大きく関係していると考えられる。また、朝日新聞の的中率が高かったのは曇りの予報率が比較的低く、雨と予報する割合が実際の天気に近いからと考えられる。

朝日新聞は単純な的中率は高かったが、極端な予報の外れ(晴れと予報して雨など)がある可能性があったため、今年度はこの予報の差異について調査した。また、「曇り」予報と心理面との関係性について豊田西高校生徒を対象にアンケートを実施した。

#### 【研究① 各新聞社の天気予報と実際の天気との差異】

##### 方法と仮説

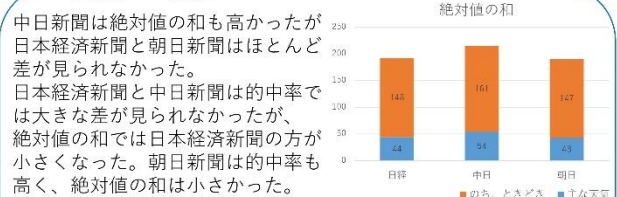
天気予報と実際の天気を主な天気・のち・時々に分けて、それぞれについて晴れを1、曇りを2、雨を3とし |天気予報の数値-実際の天気の数値| の和を比較した。

▼表1 実際の操作画面

予報のち	実際のち	結果のち	予報の時々	実際の時々	結果の時々
7月18日	2	3	2	3	0
7月19日	2	2	3	3	1
7月20日	2	2	3	3	1
7月21日	2	2	2	2	0
7月22日	2	2	3	3	1

晴れや雨の予報率が高かった朝日新聞は和が大きく、曇りが多い日本経済新聞や中日新聞では小さくなると予想した。

##### 結果と考察



中日新聞は絶対値の和が高かったが日本経済新聞と朝日新聞はほとんど差が見られなかった。日本経済新聞と中日新聞は的中率では大きな差が見られなかったが、絶対値の和では日本経済新聞の方が小さくなった。朝日新聞は的中率も高く、絶対値の和は小さかった。

朝日新聞は的中率が高かった分、差が0になることが多く絶対値の和が小さくなったと考えられる。日本経済新聞と中日新聞は予報における晴れ、曇り、雨の割合が大きく違わないにも関わらず絶対値の和に差が見られたのは、的中率の差によるものだと考えられる。

#### 【研究② 「曇り」予報と心理面の関係性】

##### 方法と仮説

天気予報において曇りと予報しやすくなる心理について調べるために、豊田西高校三年生文系クラスを対象に、予想する系統の質問(今年度豊田市で雪が降る日は何日あると思うか、など)と本人の志向についての質問(甘いものは好きか、など)を各5問ずつ混ぜ、4つの選択肢において1,4が極端で2,3が中庸になる(1.大幅に減少、2.ある程度減少、3.ある程度増加、4.大幅に増加、など)アンケートを行った。

予想する系統の質問では極端を避け2,3と回答する割合が高くなり、本人の志向についての質問では確固とした回答があり1,4と回答する割合が高くなるのではないかと。

##### 結果と考察

予想する系統の質問では、2,3の割合が圧倒的に多くなった。本人の志向についての質問は、4は予想する系統の質問と同じくらい少なかったが、1が最も多く、2,3の割合は少なくなった。



以上の結果から、人は何かを予想するときには極端を避け中庸を選びやすくなる心理があることが分かった。また、本人の志向についての質問に対する回答の割合から、単純にアンケートに対して極端な回答を避けたわけではないことが分かる。この心理が、天気予報において曇りの予報率が高いことにも関連していると考えられる。

#### 【今後の展望】

今回はデータを比較的簡単に得ることができた新聞だけで研究を行ったので、今後はほかのメディア、特に利用者が多いと予想されるテレビやスマホアプリなどの的中率も調べて比較したい。また、集約したデータの季節に偏りがあるため、長期的にデータ収集を行い、一年を通しての記録を比較したい。アンケートの対象も豊田西高校三年生文型クラスのみだったので、今後はより幅広い層を対象にアンケートをとっていきたい。

今回、予想するときには極端を避ける心理があることは分かったが、それが本当に曇りの予報率が高い原因なのか、実際の気象予報士に尋ねてみたい。

- 引用文献 1. 中日新聞 2. 日本経済新聞 3. 朝日新聞  
4. 「名古屋の過去の天気 -goo天気」 <https://weather.goo.ne.jp/past/636/>

参考・引用文献の表記は、発行日や閲覧日など文献を特定できる情報まで記載する

1. 中日新聞朝刊 2020年4月10日-5月10日  
2. 名古屋の過去の天気 -goo天気 <https://weather.goo.ne.jp/past/636/> 2020年5月10日閲覧

各項目の数値割合を付記するとより分かりやすくなる

アンケートの内容と評価基準、予想される結果などを明記

【理型ポスター】

# 植物育成における高吸水性高分子の有用性

S15班 発表者：○○○○ ○○○○ ○○○○ ○○○○

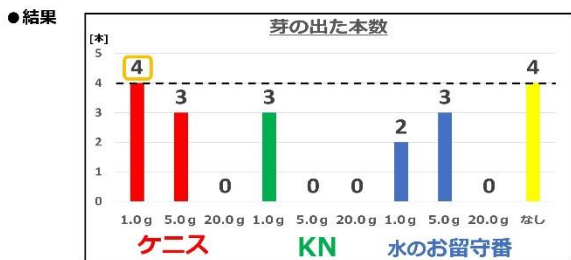
## ▶研究内容

『ケニス』『KN』『水のお留守番』という3種類の保水力・吸水力が異なるポリマーを用意し、それぞれを1.0g・5.0g・20.0gに分けて質量・材質が等しい土壌に混合した。また、ポリマーを含まない土壌も用意し、各土壌を用いたプランターでトマトの種を4粒蒔き、生育した。(ビニールハウス内で生育したため、湿度・温度・日照条件は同じであり、雨の影響はないと考えられる。)以下の3点に着目して研究を行った。

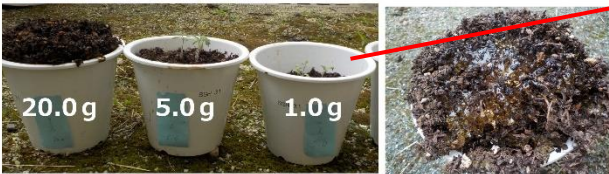
### I. 芽の出た本数 II. 茎の長さ III. 根の長さ

#### ▶研究 I 『芽の出た本数』

●方法  
6月16日から8月27日まで上記の研究内容の条件でトマトを生育し最終日の時点で発芽した本数を計測した。

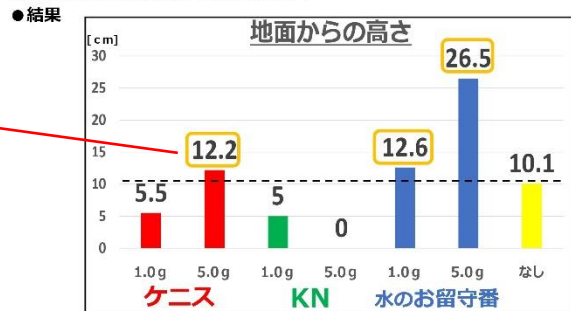


- ・ポリマーの有無による顕著な違いは見られなかった。  
→約二か月という短い期間であること。  
酷暑・長梅雨という生育に厳しい条件であること。
- ・どのポリマーでも20.0gは発芽しなかった。  
→ポリマーが水分を吸収して土壌から溢れ出る状況であった。



#### ▶研究 II 『茎の長さ』

●方法  
6月16日から8月27日まで生育したトマトの苗を最終日にプランター内で育ったトマトの茎の地面からの長さを定規を用いて計測した。(発芽しなかったものは考えないものとする。)



- ・水のお留守番の結果(特に5.0g)が顕著である。
- ・KNの生育状況が良くない。  
→水のお留守番のほうがポリマーの能力としては劣る
- ・総合的にもポリマーを使用した生育の結果が良い。  
→1.0gと5.0gを比較すると5.0gの方が結果が良い

## ▶研究の背景と目的

前年度の研究において高吸水性高分子(以下ポリマー)の保水力・吸水性について研究した。その研究を踏まえたと今回各ポリマーを混合した土壌を用いて植物を育成することで農業におけるポリマーの有用性を確認し、適切なポリマーの種類・利用方法を研究することで農業環境の新たな変革の可能性を探求することを目的とする。

#### ▶研究 III 『根の長さ』

●方法  
研究IIと同様であるが今回はトマトの苗をプランターから取り出し、根の長さを計測した。

●結果

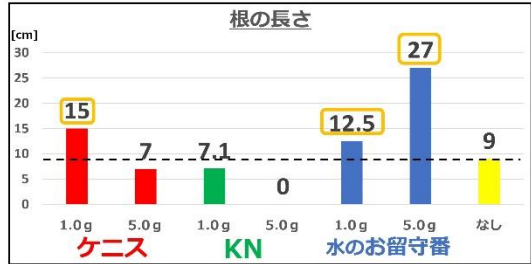


図3: 根の長さとの関係



- ・研究IIの結果と似通ったものとなった。
- ・ポリマーなしとポリマーありの差が非常に大きい

仮説: 以上3つの結果からポリマーを混合した後の土壌の構造に生育の差が生じる原因が存在する

#### ▶考察・結論

●各ポリマーの粒子の大きさと混合した土壌について着目した。

	粒子の大きさ	水分吸収後の様子	プランター内の様子
ケニス・KN	小さい	固化し、土壌全体が固まる	固く小さい粒子が密度が大きい状態を形成
水のお留守番	大きい	やわらかく、小さな塊を形成	大きさにばらつきがある粒子がすき間の多い土壌構造を形成

水のお留守番は根が張りやすく生育に適した団粒構造を形成し、その他のポリマーは生育に適さない等粒構造を形成している



#### 【結論】

§ポリマーを使用し、ただ保水力を上げればよいわけではない。  
§団粒構造を形成できるポリマーを適切な量(今回の実験では5g)で使用することで飛躍的に生育効率を上げることが可能。

#### ▶参考文献

- ・藤本浩夫 (1994) 「高吸水性材料について」
- ・藤本浩夫ほか (2008) 「育苗用土への高吸水性ポリマー混入と用土の物理性およびトマト苗の生育に及ぼす影響」
- ・藤っこや店長の健康ブログ <http://blog.nekkoya.shop-pro.jp/?pid=1>

研究の目的の共通事項を始めにまとめると以降の説明が省略できる

注目させたい値を囲みで目立たせている

写真1と同様に、写真中に各根がどのポリマーでの根を付記するとよい

専門的な事物を模式図で示しており分かりやすい

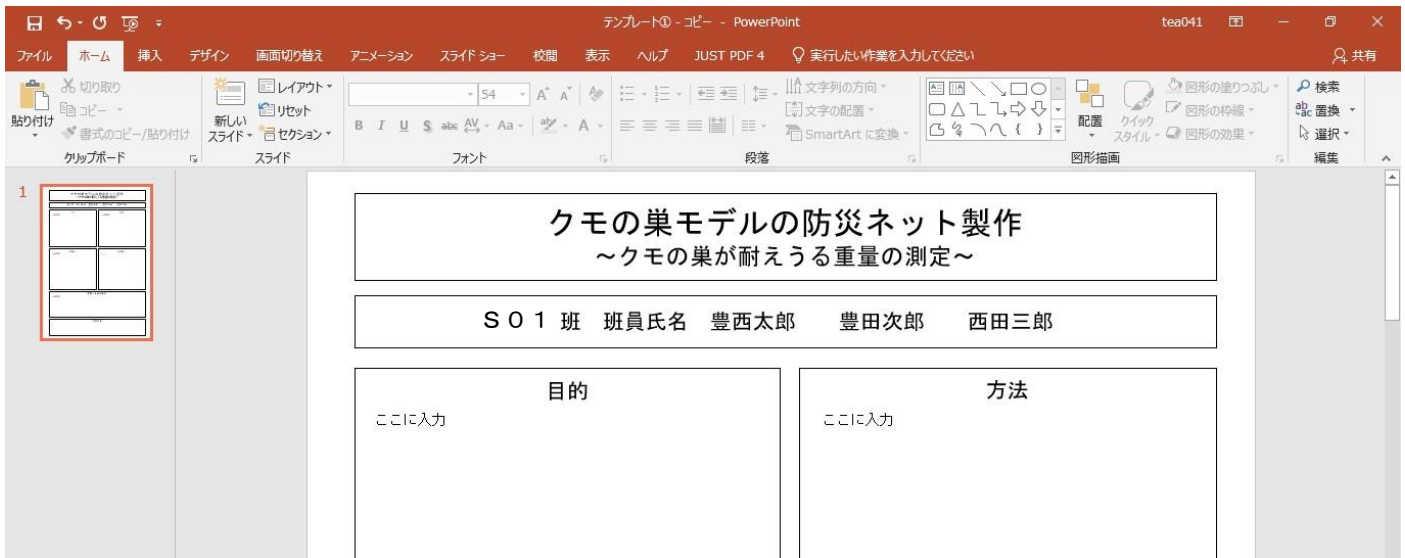
## ポスター作成の手順（初心者から熟練者まで）

【1】パソコン操作が苦手、PowerPoint を使ったことがないグループ

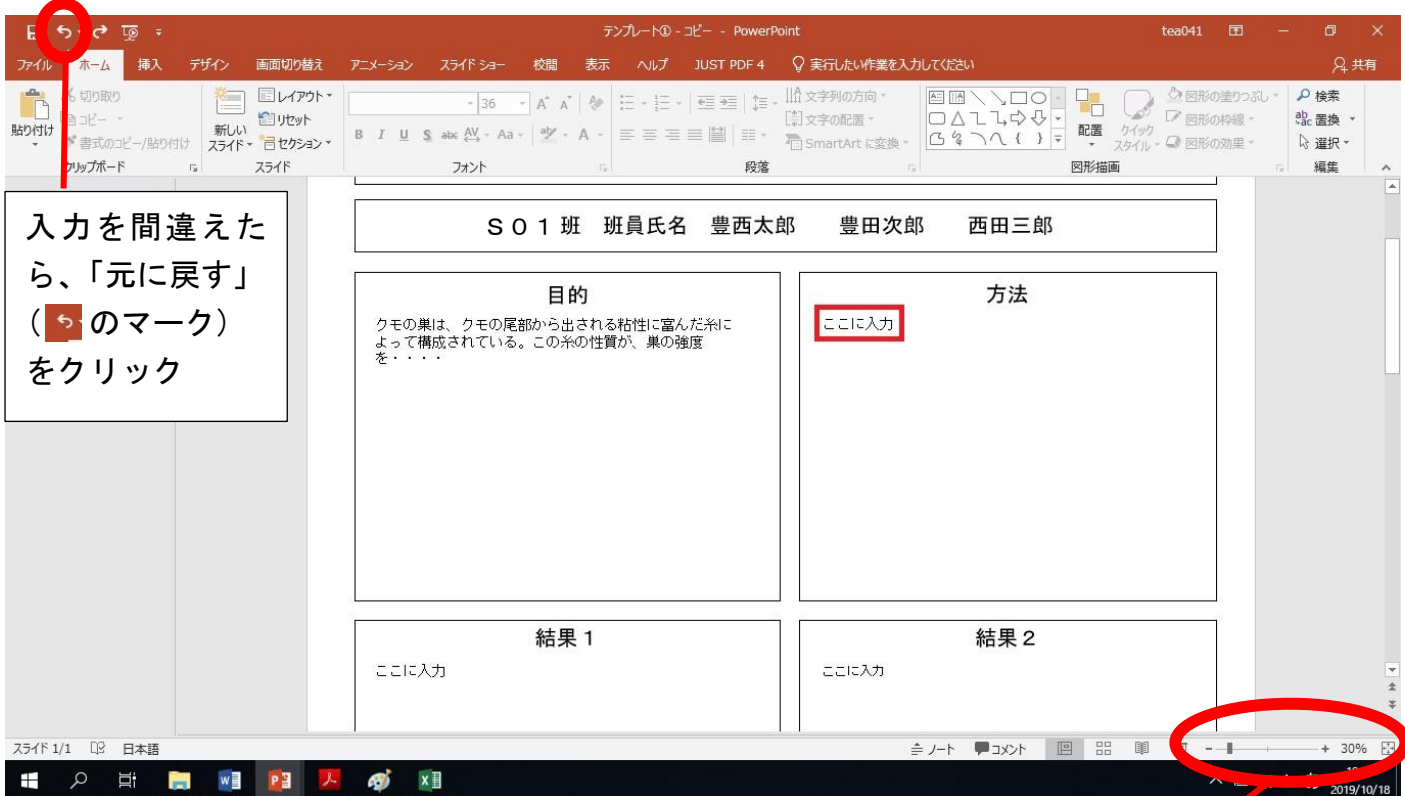
①ドライブ内のテンプレート I～VIから1つ選び、デスクトップにコピー&ペースト

②テンプレートの PowerPoint ファイルを開く

③「タイトル」欄をクリックし、タイトルを入力、「班番号・氏名」欄も同様に入力

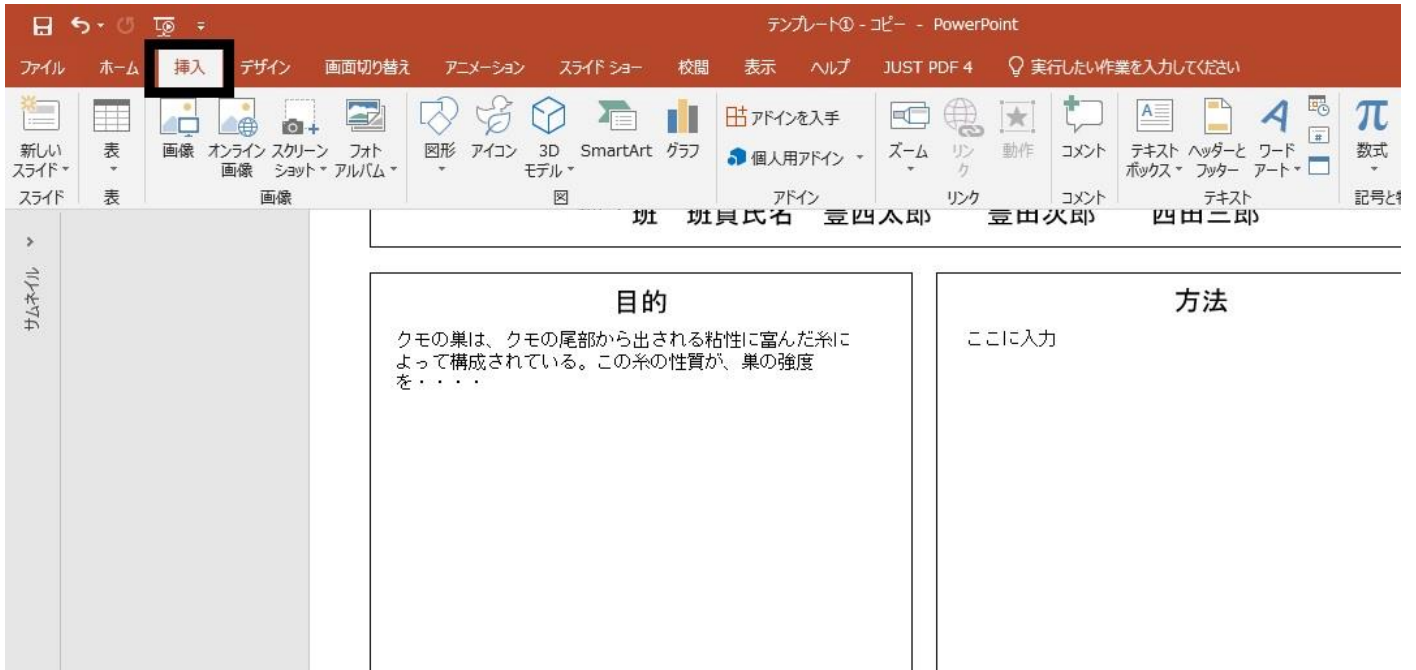


③各項目の「ここに入力」の部分をクリックし、文章を入力



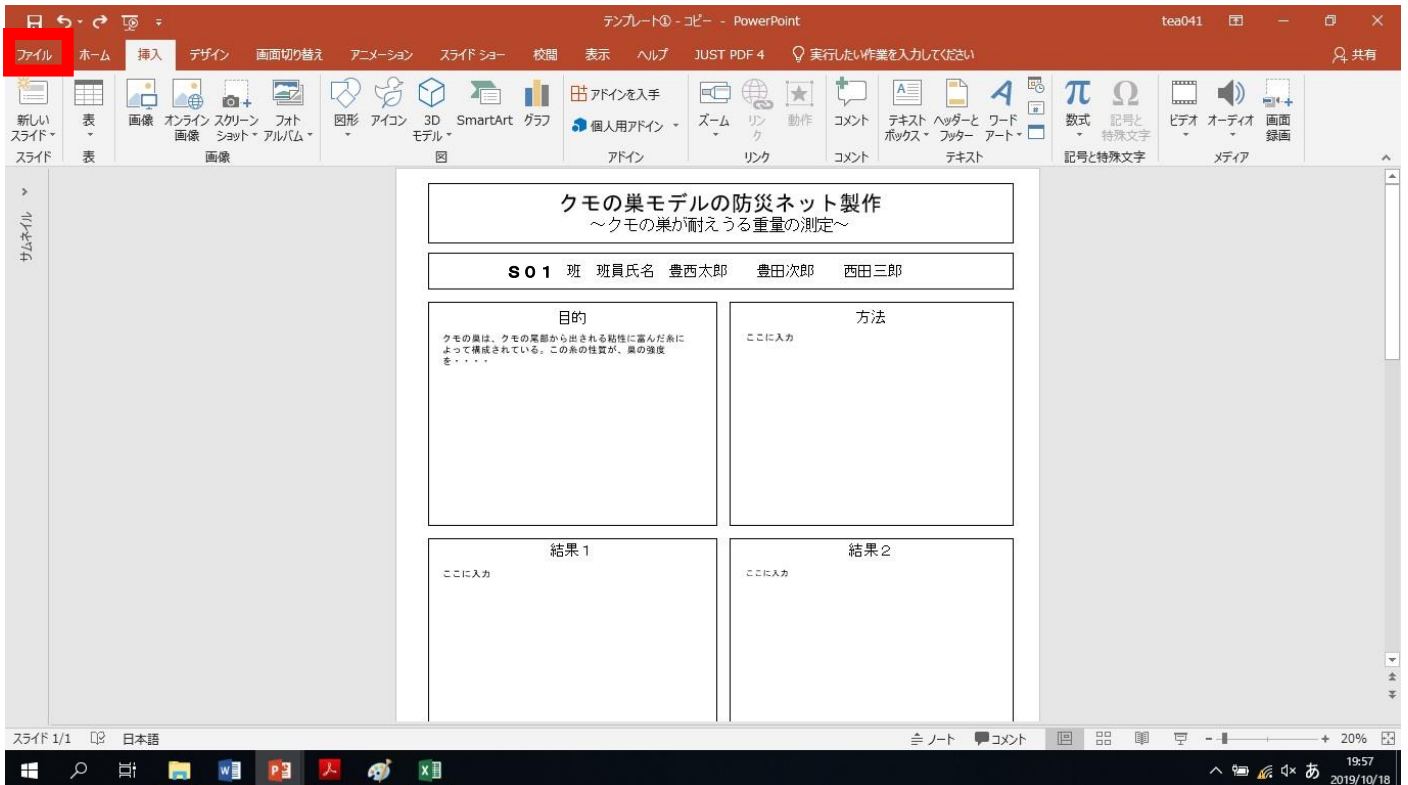


#### ④画像や表、グラフを入れたい場合は「挿入」タブをクリックし、入れたいものを選択

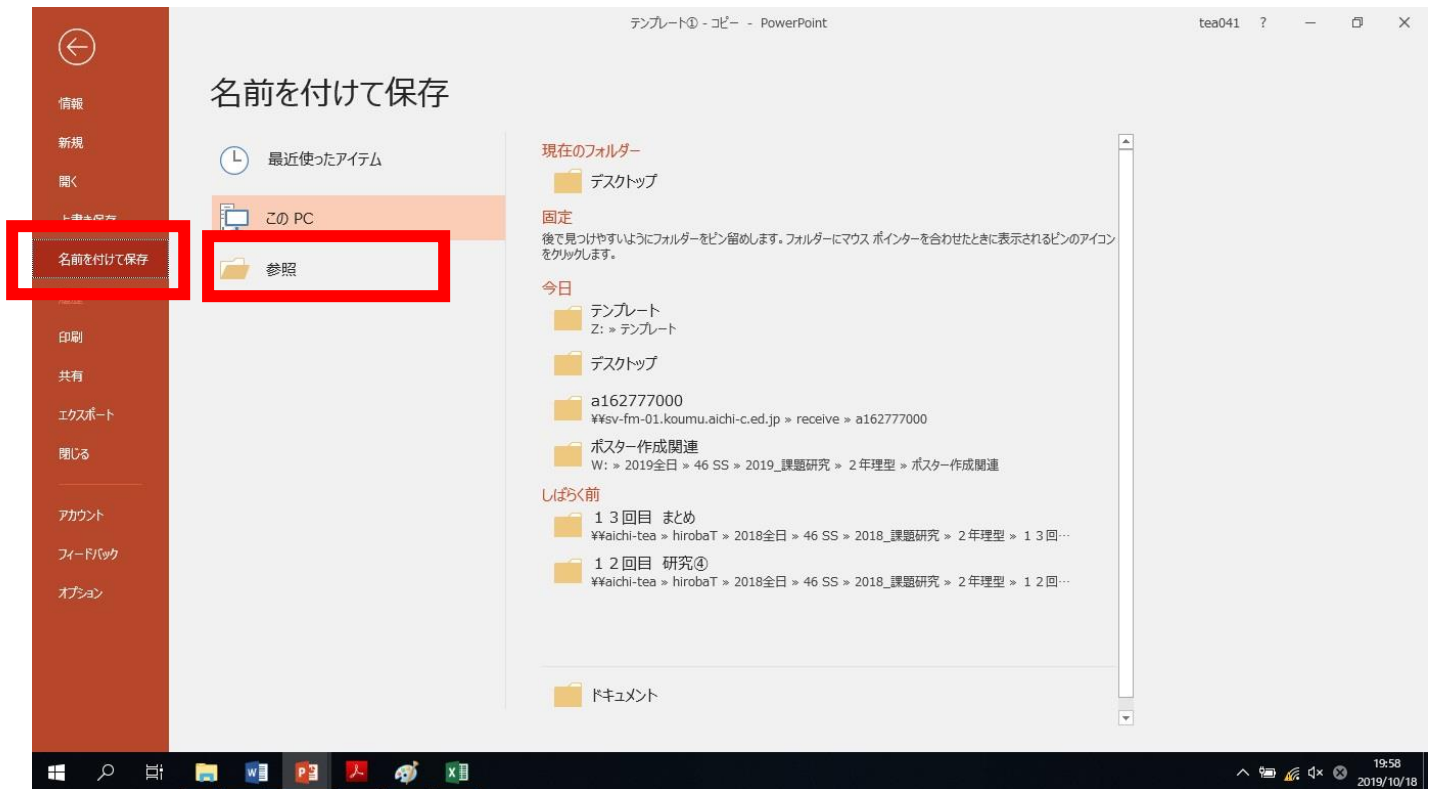


※表やグラフの作り方は情報の教科書を参考に作成しましょう。

#### ⑤データを初めて保存するときは、まず「ファイル」選択




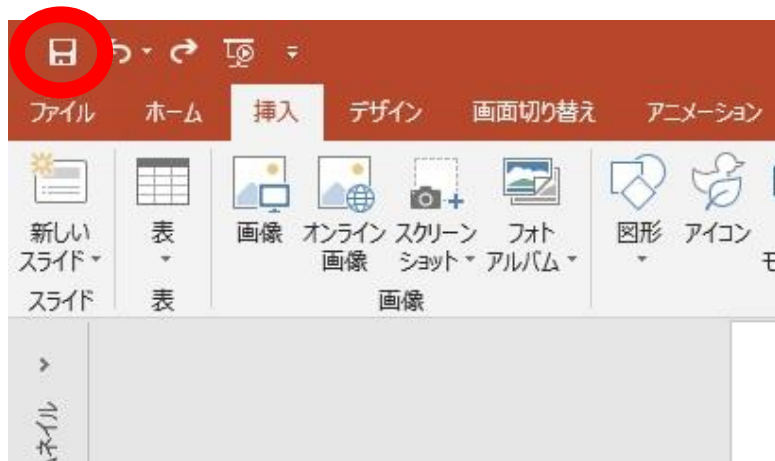
⑥次に「名前を付けて保存」を選択し、「参照」をクリック



⑦保存先（下図はUSB保存の場合）を選択し、ファイル名「班番号：編集日」（例：L01 班が2021年9月30日に編集した場合は「L01：210930」）を入力して、「保存」をクリックし完了



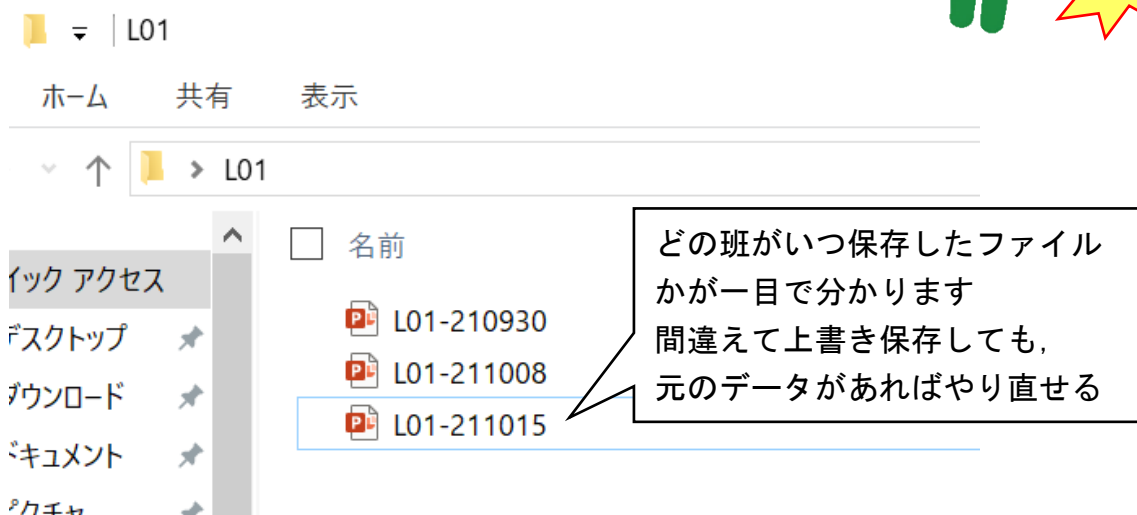
⑧ 2回目以降の保存は「上書き保存」（左上の  のマーク）をクリックでOK



**注意** 少しの変更でもこまめに保存すること！

保存忘れやPCのフリーズはデータ消失です！！

定期的に編集日別のバックアップを取ること！



⑨ 「背景・目的」、「方法」などすべての項目の入力が完了したらポスター完成

### パソコン操作で困ったら...

① まずはマウスの「右クリック」を押してみましょう。

画像や文字などの操作は「右クリック」を押せばヒントが見つかるかも？  
「右を制するものはWindowsを制する！」

② 情報の教科書やネットで調べましょう。

自力で調べることもパソコン操作の上達には大切です。  
「パソコン操作を調べることも“研究”の一環！」

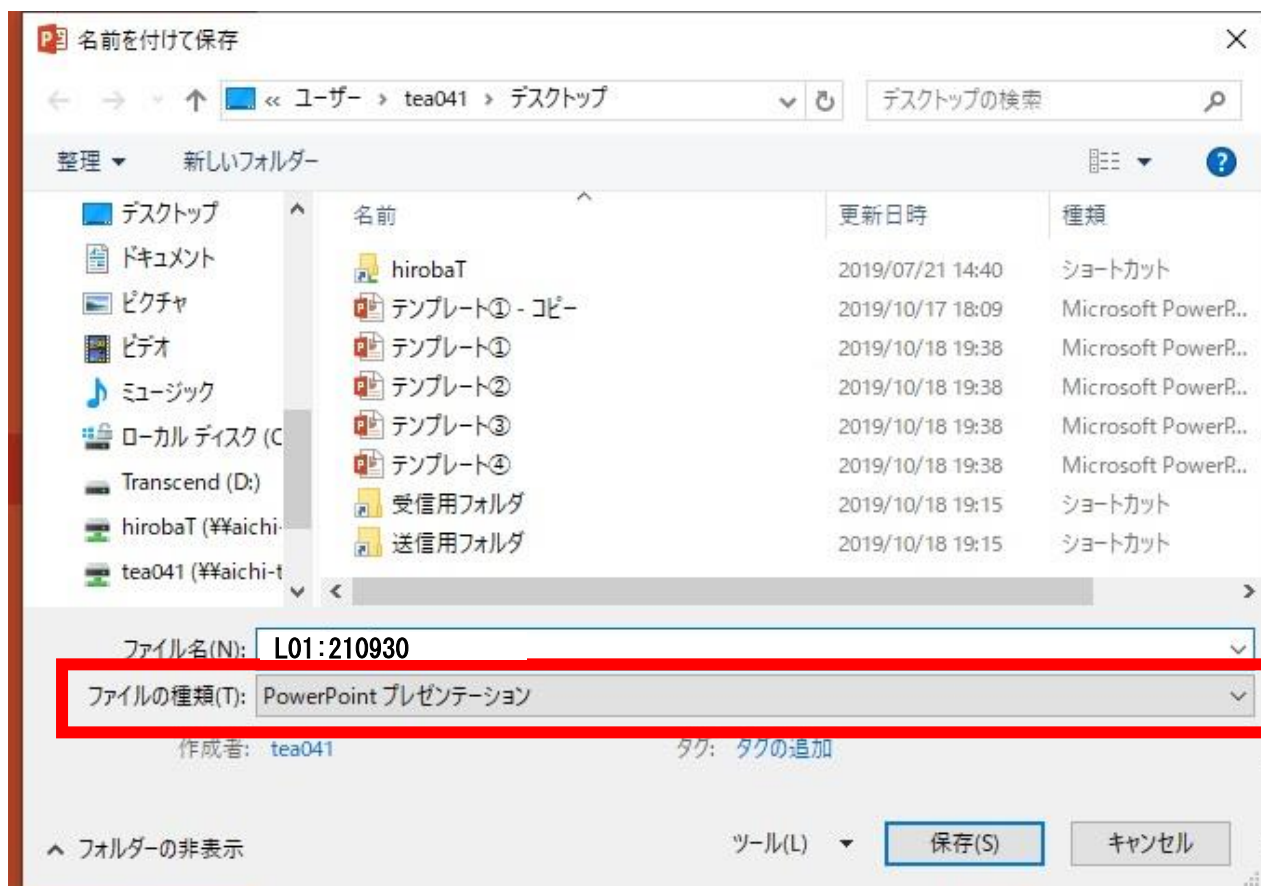
③ 担当の先生やパソコンに詳しい友人に相談しましょう。

恥ずかしがらず、ときには誰かに助けを求めましょう。  
「聞くは一時の恥、聞かぬは締切オーバーの恥！」

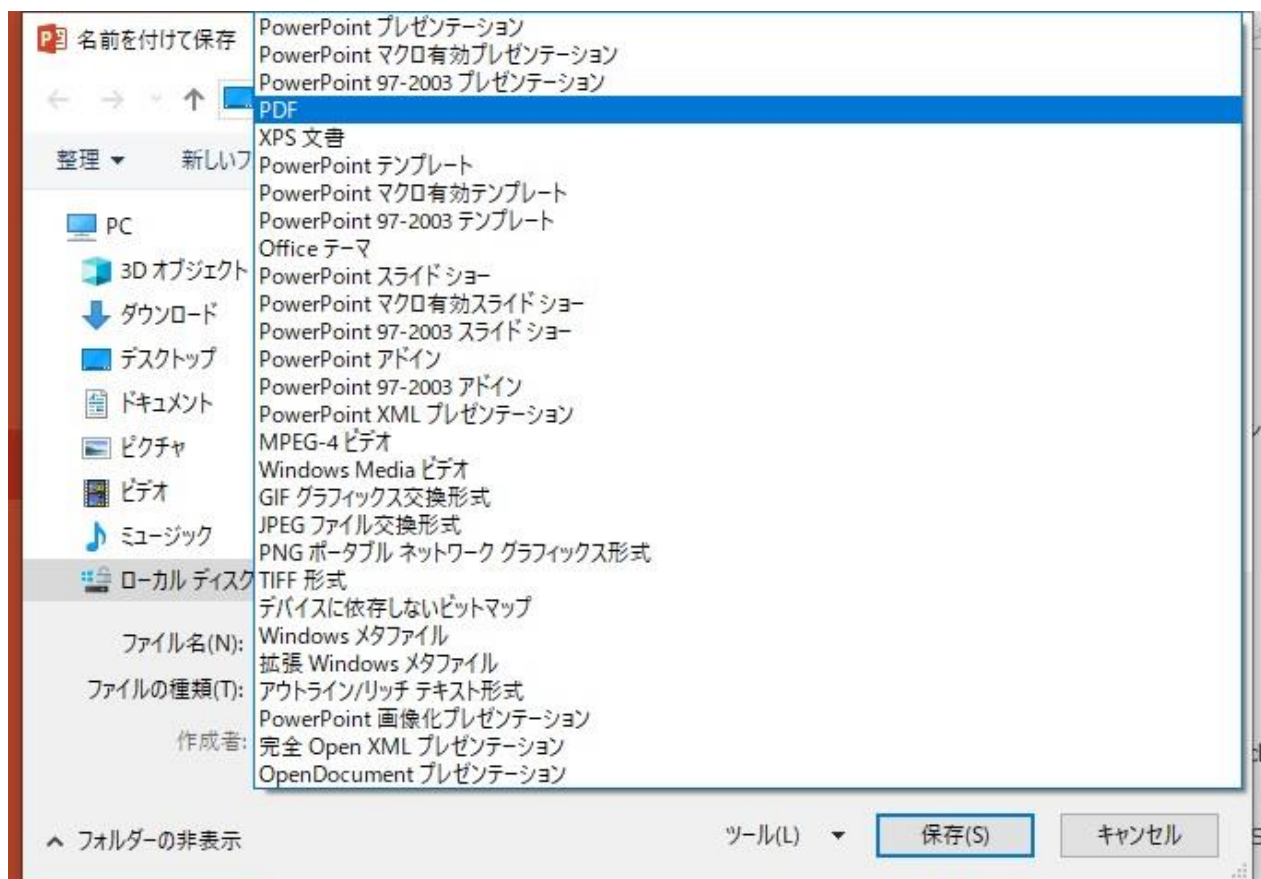


ポスターが完成したらポスターデータを「pdf ファイル」でも保存します

⑩手順⑤～⑦の方法で保存先を選択し、「ファイルの種類」をクリック



⑪「PDF」を選択し、「保存」をクリックして完了



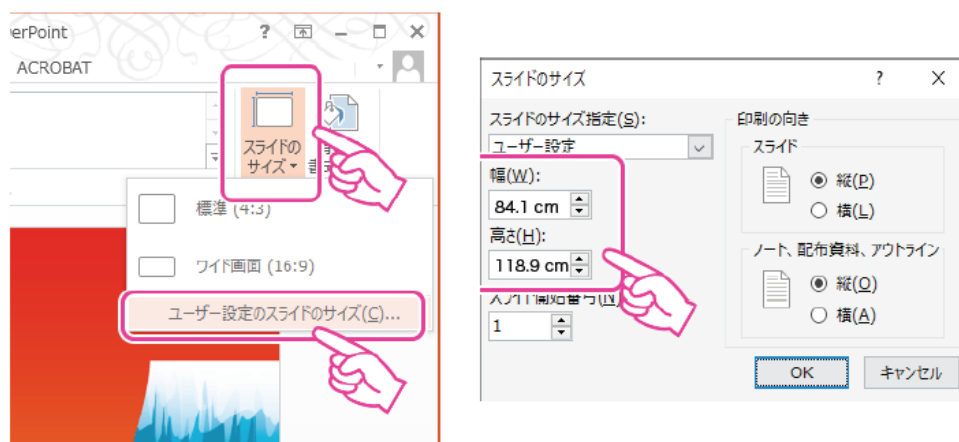
## 【2】 PowerPoint を使ったことあるが、ポスター作成は経験がないグループ パソコン操作ができて、テンプレート以外のデザインで作りたいグループ

- ①【1】の手順①～⑨でポスターを作成
- ②「ホーム」タブを選択し、文字の「フォント」や「色」、「太さ」などを変更してみましょう
- ③「書式」タブを選択し、「図形の挿入」、「図形のスタイル」などを活用してみましょう。  
※詳しくは情報の教科書やネットで調べてみましょう

## 【3】 PowerPoint でポスターを作成したことがあるグループ

Word や Excel を苦労なく扱うことができるグループ

- ①ポスターサイズを **A0サイズ** (縦 84.1cm×横 118.9cm) に設定して自由にポスターを作成しましょう。



### ＜フォントサイズの目安＞

- ・タイトル：100pt
- ・見出し(目的、方法など)：72pt
- ・本文：36pt

## ポスターのデザインについて

デザインの優れたポスターは聴衆にもわかりやすく、興味を引きやすくなります。

ただし「デザインは万能」ではありません。←重要!

デザインにこだわり過ぎず、充実した研究内容を伝えることが最も大切なことです。

※色づかいにも気を配りましょう。目に負担をかけない「見やすさ」を忘れずに

↑背景色に原色や濃色を使うことは避けましょう。「白色」が基本

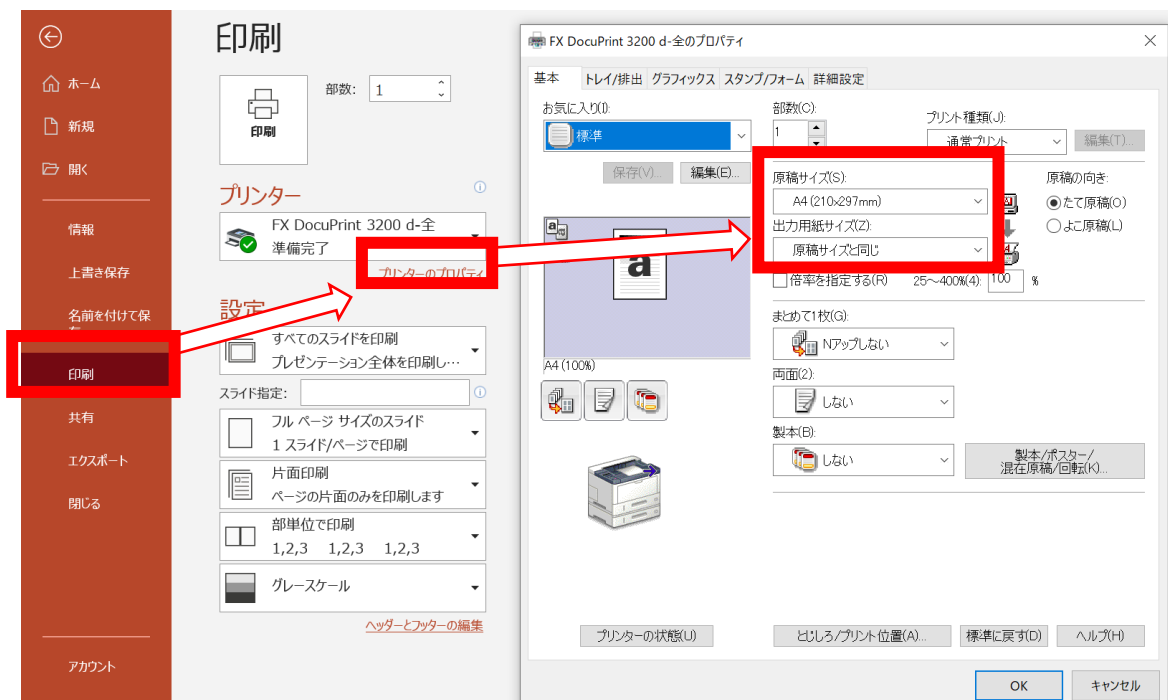
## ポスター印刷 & 確認

### 【1】 A 4サイズの紙に印刷して、ポスター全体を確認しましょう

パソコンの画面上で見ているポスターと実際に印刷したポスターでは印象が異なることが多いです。ポスター印刷する前に、まずは**A 4サイズの紙**に印刷して確認してみましょう。

#### <印刷の手順>

- ① ポスターのファイルを開く
- ② 「ファイル」 → 「印刷」の順に選択
- ③ 「ファイルのプロパティ」をクリックし、原稿サイズと出力用紙サイズを「A 4」に選択



- ④ 「OK」 → 「印刷」で印刷完了

### 【2】 複数の目で確認

班員全員で印刷したポスターを確認・添削しましょう。  
誤字脱字，文章の表現の誤り，図表の載せ忘れなどが無いかをチェックし，修正箇所があればポスターに加筆修正しましょう。

### 【3】 担当の先生へ提出

p. 14 **提出前のチェックリスト**を確認したら，担当の先生へ提出し，添削を受けましょう

**注意** 多くの班で添削後に再提出が必要になることが予想されます。  
先生たちの添削にも時間を要するため，締切間近での提出は×

## 提出前のチェックリスト

チェック項目		✓																																
デザイン	全体の流れが一見してわかるレイアウトである																																	
	背景色が目立たない(原色や濃い色を使っていない)																																	
	タイトルや小見出しの文字が大きく目立っている																																	
	「ゴシック体」のように見やすいフォントである																																	
	視覚的に訴える図表や写真, 模式図などを使用している																																	
文章	話し言葉を使っていない																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>気を付ける表現</th> <th>ポスター向けの表現</th> <th>気を付ける表現</th> <th>ポスター向けの表現</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>～と思う</td> <td>～と考えられる</td> <td>でも、だけど</td> <td>しかし</td> </tr> <tr> <td>～かもしれない</td> <td>～の可能性はある(考えられる)</td> <td>まだわかっていない</td> <td>未解明である</td> </tr> <tr> <td>今までは</td> <td>従来は、これまでは</td> <td>よくなっている</td> <td>改善されている</td> </tr> <tr> <td>だいたい〇〇</td> <td>約〇〇、およそ〇〇</td> <td>悪くなっている</td> <td>悪化している</td> </tr> <tr> <td>たくさんの</td> <td>多くの</td> <td>この〇〇</td> <td>本〇〇</td> </tr> <tr> <td>とても、すごく</td> <td>たいへん、非常に</td> <td>例)この研究 この実験</td> <td>例) 本実験 本研究</td> </tr> <tr> <td>だから、なので</td> <td>したがって</td> <td>今までの研究</td> <td>先行研究</td> </tr> </tbody> </table>	気を付ける表現	ポスター向けの表現	気を付ける表現	ポスター向けの表現	～と思う	～と考えられる	でも、だけど	しかし	～かもしれない	～の可能性はある(考えられる)	まだわかっていない	未解明である	今までは	従来は、これまでは	よくなっている	改善されている	だいたい〇〇	約〇〇、およそ〇〇	悪くなっている	悪化している	たくさんの	多くの	この〇〇	本〇〇	とても、すごく	たいへん、非常に	例)この研究 この実験	例) 本実験 本研究	だから、なので	したがって	今までの研究	先行研究	
	気を付ける表現	ポスター向けの表現	気を付ける表現	ポスター向けの表現																														
	～と思う	～と考えられる	でも、だけど	しかし																														
	～かもしれない	～の可能性はある(考えられる)	まだわかっていない	未解明である																														
	今までは	従来は、これまでは	よくなっている	改善されている																														
	だいたい〇〇	約〇〇、およそ〇〇	悪くなっている	悪化している																														
	たくさんの	多くの	この〇〇	本〇〇																														
	とても、すごく	たいへん、非常に	例)この研究 この実験	例) 本実験 本研究																														
	だから、なので	したがって	今までの研究	先行研究																														
文章が多すぎない, 適度に余白がある																																		
色文字や囲みなど, 注目させたい部分を目立たせている																																		
タイトル	ポスター内で最も大きな文字で, 目立つ位置にある																																	
	わかりやすく, 何をやるようとしている研究なのかが想像がつく																																	
	「取り組む問題」「問題解決の着眼点」がわかる																																	
背景・目的	先行研究・事例で取り組まれている内容, 未解決・未解明の現象や事物を紹介している																																	
	研究の新規性や独自性など自分たちが取り組んだ研究の意義を述べている																																	
	リサーチクエスチョン(何を明らかにするか)が設定されている																																	
	リサーチクエスチョンを解決する仮説(何が明らかになれば問題解決になるか)が示されている																																	
研究方法	研究対象の特徴や由来, 物質名, 種名など詳細まで示している																																	
	小見出しなどで「実験・観察・調査の狙い」を示している																																	
	他者が再現できるような「実験・観察・調査の方法」を示している																																	
結果	主観的な内容がない, 客観的な事実のみを示している																																	
	図表にタイトルを付けている																																	
	数値データには単位を付けている																																	
考察・まとめ	「背景・目的」に対する解答を述べている																																	
	「結果」に対しての理由, 「結果」から想定されることを述べている																																	
	複数の「結果」を統合して想定されることを述べている																																	
	先行研究など他者の研究結果と照らし合わせて考察している																																	
参考文献 引用文献	参考文献と引用文献を区別できている																																	
	参考・引用した文献を特定できる情報を記載している 例) 難波大真 他(2014). 「手作り瞬間冷却材の制作」, 神戸高専研究紀要, 第50号(平成24年), 177-180 KNラボラトリーズ. 温湿度データロガー   ハイグログロン   <a href="https://www.kn-labs.com/hygrochron.htm#top">https://www.kn-labs.com/hygrochron.htm#top</a> . 2019年12月11日 ※参考・引用文献の書き方は, 啓林館「課題研究メソッド」等を参照して下さい																																	

## ポスター発表の仕方

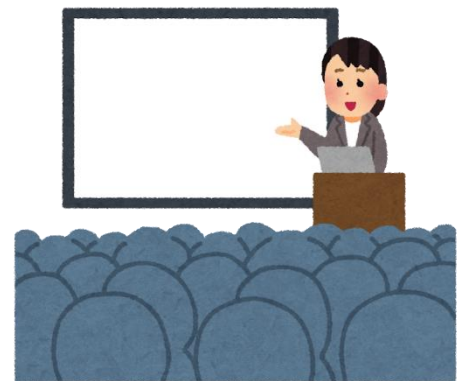
ポスター発表とは、「ポスター発表」＝「ポスター」＋「口頭の説明」によって成立します。ポスターは貼りだしたら終わり、ではありません。「ポスターを用いて自分たちの研究を相手が理解できるように伝えること」が“ポスター発表”です。以下の項目を心がけて、より良い発表を目指しましょう。

### 【1】口頭で説明する内容をまとめる

まずは、ポスター内容のうち口頭で説明する部分をまとめましょう。ポスターは発表原稿ではありません。自分たちの研究を理解してもらえるよう、ポスターのどの部分をどのように説明するかを事前に準備しましょう。発表時間に合わせてどの程度詳しく説明するかも重要です（口頭5分間で話せるのは約1500文字程度）。

### 【2】全員に向かって言葉を発する

ポスター発表は、発表を通じた聴衆とのコミュニケーションの場です。発表を聴く相手の方を向いて身振り手振りを加えながら言葉を発しましょう。**原稿やポスターを凝視しての発表は×**。聴衆全員に視線を送りながら聞こえる声で発表しましょう。



### 【3】聴衆の反応を見ながら説明する

**発表内容への理解は聴衆によって様々です**。例えば、中学生や下級生に対しては目的・背景にある用語から説明が必要かもしれませんし、逆に大学の先生に対しては用語の説明は省く代わりに方法や結果、考察について詳しく説明した方がよいかもしれません。発表中の聴衆の反応に合わせて説明内容を調整しましょう。

### 【4】説明している部分を指示棒などで示す

発表中は、ポスターのどの部分について説明しているのかが分かるように指示棒などを用いて説明箇所を示しましょう。





## 【5】図表の読み取り方を説明してから，データの意味を述べる

棒グラフや円グラフ，表，写真などポスターに載せたデータが何を示しているのか，初見の相手が理解できない場合もあります。まずは，軸やラベルなど図表の読み取り方を説明し，その後にデータから何が分かるのかを述べましょう。

例)「この図は…のグラフで，縦軸は…，横軸は…を示しています。サンプルAのグラフを見ると，〇月〇日から〇月〇日にかけて△△だけ値が上昇しています。これより…」



## 【6】質問内容を想定しておく

発表後の質疑応答に備えて，事前に質問される内容およびその返答を考えておきましょう。聴衆の視点から自分たちのポスターや説明内容を見直しましょう。

### 参考文献

- ・岡本尚也 (2017). 『課題研究メソッド よりより研究活動のために』. 啓林館
- ・酒井総樹 (2013). 『これから研究を始める高校生と指導教員のために 研究の進め方・論文の書き方・口頭とポスター発表の仕方』. 共立出版
- ・天野由貴 (2018). 情報デザインを意識したポスター作成入門.  
<https://home.riise.hiroshima-u.ac.jp/~ten/poster20180125web.pdf>. 2021年8月2日

著 作：愛知県立豊田西高等学校 SS事業部

発行日：2021年8月31日

配付先：